

地域密着型サービス自己評価票

- 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成	年	月	日
事業所名	グループホームファミリア元八事			
ユニット名	1 ユニット			
事業所番号	23 - 7160 - 1234			
記入者名	職名	介護支援専門員	氏名	大竹節子
連絡先電話番号	052 - 832-8017			

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・優しさと安らぎに満ち溢れた住まいを目指しています。 ・その方がその人らしく暮らせる場所である事を目指しています。 	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族に代わって、家族の一員として日々接し、その人らしさを大切にして行くよう指導しています。 	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族には、その理念の説明を十分に行い、理解して頂いていると思います。 ・地域の方にも、その理念を伝えています。一部の方には理解して頂いていると思います。 	○
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶を心がけいつでも立ち寄って頂けるよう声がけを欠かさないようにしています。また、指導しています。 	○
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会等の行事または地域活動への参加依頼をしている。 	○

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>・隣、近所の方には「出来ることはないか？」 「困っていることはないか？」声がけをしている。 ・話し相手程度で留まっている。</p>	<p>・今後、施設内でのお祭り行事などに取り組み地域の方が気楽に参加できる場を設けて行きたい。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>・自己評価や外部評価を受ける事で、よりサービスの向上が図れるものと考えている。 ・各自で遣り得ていたと思う事も、外部からの指摘により「きづき」や「見直し」につなげ改善できるものとする。</p>	<p>・外部 自己共々マイナスの無い施設でありたい。その為には結果を重視した確実な改善を目指して行きたい。</p>
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、その意見やサービス向上に活かしている</p>	<p>・行事報告、行事内容等の報告を行い、次へ向けて話し合っている。 ・出席されない方への報告は報告書（議事録）を通して伝達し意見を求め、反映させている。</p>	<p>・ご家族 地域の方の意見を反映させ、より一層サービスの向上を図って行きたい。</p>
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>・何かにつけ市町村の方にはご迷惑の事と思いますが、伺いご指導、ご指摘して頂いています。それが一番市町村のご意見に沿ったサービスだと思っています。</p>	
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>・理解はしています。今の時点活用場がない。</p>	<p>・今後、必要に応じ活用して行きたい。・職員指導も行って行きたい。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>・スタッフ間で声を掛け合い、スタッフの居場所が把握できるようにしている。・言動は十分注意するよう指導している。</p>	<p>・今後、勉強会や指導を行い、更に強化して行きたい。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>・契約、解約については、面接時の際に書類を通し十分な説明を行い、ご理解、ご納得して頂いている。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>常に利用者様の言動に注意を払い、スタッフからも話し易い状況を作るように心がけている。</p> <p>・内容については、朝のミーティングの際に他のスタッフに内容を伝え、検討していくようにしている。</p>	<p>○</p> <p>・利用者様の言動について、伝えるだけでなく介護記録の充実化を図って行きたい。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>・面会時やその状況に応じ、その都度伝えている。</p> <p>・全体的な伝達事項については、請求書と一緒に同封して報告しご理解頂いている。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・ご家族から頂いた意見等は、その都度ミーティングにかけ、検討している。時には、他のご家族から意見を求めることもある。</p>	<p>○</p> <p>・職員の意欲向上、サービス向上へと繋げて行きたい。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>・毎朝のミーティング及び毎月のミーティングにて各自での意見交換を行っている。</p>	<p>○</p> <p>・職員の意見、提案を尊重し意欲向上、サービス向上へと繋げて行きたい。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>・その都度話し合い勤務の調整に努めている。</p> <p>・運営者とも話し合い人員確保に努めている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・当然ではあるが、必要な場合もある為、なるべく人員の確保に努める。 ・各職員に現場での遣り甲斐を持って貰うべき各自の意見の尊重をする。 ・非常勤ではなく常勤人員の確保に努めている。 ・管理者として利用者第一と考え、ダメージが少ないよう運営者と話し合っている。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も人員確保のための職員指導のあり方を考慮していく。
5.人材の育成と支援			
19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<ul style="list-style-type: none"> ・段階の応じての計画は各個人のレベルもあるため、計画は立てても実行は難しい。 ・管理者は各種研修に出席できるよう奨励し受講費の負担は全額法人負担としている。 ・資格手当の支給により向上に遣り甲斐を持ってもらうようにしている。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・研修受講者による職員全員に対する勉強会をする事により法人内の質の向上を図って行きたい。
20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・市、地区の交流会は時間がある限り、職員に呼びかけ出席してもらいサービスの向上を目指している。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用様と共に相互訪問の機会を作って行きたい。
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・1ヶ月に一度、各施設の幹部による合同会議で不安材料を話し合い解決及び統一性を図っている。 ・毎月のミーティングによる職員の意見交換でのコミュニケーションの確立を行っている。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・職員一人ひとりの意見の確保に努め、ストレスを貯める事の無い様に話し合いの場を多くしていく。
22 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・把握している。 ・努力、実績については、役職対価にて報えるよう細かくタイムガードに記入してもらい、各自のサービスに対する意見について出来る限り現実のものとしている。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・各自がサービス計画について深く関わり、成功しご利用様様の笑顔をより多く得られる事が向上の近道であると考えている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>・利用者様が求めている事に対し、傾聴に心がけ出来る事は受け止めるようにしている。・一対一でゆっくり時間を取りコミュニケーションを図るようにしている。・本人の状況を良く観察し、その上でチームケアでの取り組みを行っている。</p>	<p>○</p> <p>・利用者様の納得いくような取り組みが出来るようチームケアの確立を強化して行きたい。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>・管理者、ケアマネージャーが中心となり、家族とのコミュニケーションを図るべく機会を作るよう努力している。・ご家族様のお話を聞き、理解しながらご家族様の意見も受け止めるようにしている。・利用者様からの相談に応じ、わかるよう説明し穏やかに過ごして頂けるよう配慮している。</p>	<p>○</p> <p>・ご家族、ご本人の意見を各職員が傾聴し、受け止められるようより一層強化して行きたい。</p>
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>・各スタッフでの判断では対応困難な場合は、チーム間で協議し対応している。・支援を見極め、他の利用者様にも反映できるように支援している。・頂いた情報を素にスタッフ間でよく話し合い支援している。</p>	<p>○</p> <p>・相談を受けた時、ご家族、ご本人が求めている事に対応かつ納得がいくよう更に支援して行きたい。</p>
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>・職員が間に入り、他の利用者様とのコミュニケーションが図れるよう努力している。・即対応ではなく、職員、ご家族との話し合いの上、様子を見ながらサービスを開始するようにしている。</p>	<p>○</p> <p>・時間をかけ、吟味しながら計画的に進めていくよう配慮して行きたい。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>・日常生活動作を共に進めていく上で、ご本人を尊重しつつ介護に取り組んでいる。・お互いに共有できるもの、またそれぞれを尊重しながら支え合う関係を築けるよう努力している。・昔話に耳を傾け、一緒に喜び、悲しんだり日々取り組み、より良い関係作りを築いている。</p>	<p>○</p> <p>・傾聴に心がけ、何でも話せる雰囲気作りに重点を置き、余裕ある時間設定を更に強化して行きたい。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・各スタッフがそれぞれ対応し、ご家族と共に支え合える関係を築いている。・ご家族等来所時には、一緒に会話を持ち、共有し合える関係作りに努めている。	<input type="radio"/>	・相談窓口一本化によるご家族との関係強化を更に図って行きたい。
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・管理者、ケアマネージャーが間に入り対応している。・気づいた事は、ミーティングなどで話し合い、ご本人、ご家族の希望を理解し、より良い関係作りに努めている。	<input type="radio"/>	・今後、更に職員が一丸となって協議し踏まえた上で、対応して行ける様努めて行きたい。
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・ご近所の方からの声かけ等を大切にして時間を作り会話できるよう努めている。・定期的に来所して頂き、ゆっくり過ごして頂いている。・ご家族の協力を得てその場所に連れ出して頂いている。また、スタッフがご家族より了承を頂き対応している。	<input type="radio"/>	・それぞれの対応となると限界がある。今後、更に時間を配慮した計画が必要となると考える。
31 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・利用者様同士の関係を把握した上で、時にはスタッフが間に入り、穏やかに過ごして頂けるよう努めている。・レクリエーションを通して、コミュニケーションが図れるよう努めている。・利用者様の性格等を理解し、関わり合えるよう配慮している。	<input type="radio"/>	・利用者様の情報収集の強化を図り、関わり合える状況作りをしていく。
32 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・管理者により、手紙等による通信を行い、断ち切らないよう配慮している。	<input type="radio"/>	・今後も続けていく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>・職員一人ひとりに利用者様の受け持ち体制を取り、その上でケアプランを検討している。・利用者様の話を傾聴し、本人の視点で話し合い取組んでいる。・ご家族の意向も取り入れ、ご本人の希望に添えるよう検討している。</p>	<p>○</p> <p>・ケアの定期的な見直しを更に強化し、より良いケア体制を図って行きたい。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>・特にケアマネージャーを通し、情報収集に努めている。・各利用者様のプライバシーを配慮しながら職員での話し合いを設け努めている。</p>	<p>○</p> <p>・ご家族とのコミュニケーションの向上及びその内容について、スタッフ間での情報の共有化を強化して行きたい。</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>・日々のミーティングの中で各利用者様の現状を把握するよう努めている。</p>	<p>○</p> <p>・ミーティングの重要性を理解し常に情報交換が出来る場でありたい。</p>
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>・日常生活の中で、ご本人のために必要なケアは何か？話し合い計画作成に努めている。・職員同士アイデアを出し合い作成している。</p>	<p>○</p> <p>・職員とご家族との連携を強化して行きたい。</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>・状況に変化が合った場合は、ご家族と話し合い、見直す形を取っている。</p>	<p>○</p> <p>・日々ミーティングの中で変化について、重視した内容検討を行って行きたい。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・介護記録は24時間記録とし、気づきや計画の見直しに活かしている。・記録に記入した内容について、日々の申し送りで共有しながら検討している。	<input type="radio"/>	・各職員における介護記録方法の強化を図って行きたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・各スタッフが柔軟な対応をしている。	<input type="radio"/>	・各スタッフの対応ではなくチームとしての組織化を目指して行きたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・地域との交流を深める為、2ヶ月に一度、地域運営推進委員会での参加を呼びかけているが、参加者が少ない。・社協、ご家族等の協力を得ながら、ボランティア等の依頼を行っている。	<input type="radio"/>	・まだまだ協力機関が少ないため。更に強化して行きたい。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	・出来ていない	<input type="radio"/>	・必要に応じ検討して行きたい。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	・今はしていない	<input type="radio"/>	・今後、必要に応じ協力して頂きけるよう検討して行きたい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・週に一度かかりつけ医の往診があり、健康管理を行いつつ、病状に応じ、かかりつけ医との連絡を密にし、適切な医療が受けられるよう援助している。	○	・利用者様の病状に応じ、他院への受診も行っている。今後も関係を築けるよう情報提供を行っていく。
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	・かかりつけ医への情報提供により診断及び治療が受けられるよう支援している。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	・看護師が常駐している。・看護師と相談しながら指導の下支援している。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	・退院後の生活状況など、事前にケアマネジャーが情報を得るようにして職員へ伝え、対応できるよう備えている。・病院関係者との情報交換はその都度必要に応じ行っている。・場合によっては、緊急時の対応も出来るようにしている。	○	・緊急時の対応に備え、入院先との連携の強化を行う必要がある。
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	・ケアマネジャー、専門医、ご家族との共有、確認は、繰り返し行われている。・家族間での話し合いの場も必ず設けて頂いている。	○	・職員が一丸となってケアできるよう指導していく。
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	・介護計画に沿って、また医師、看護師の指導の下行っている。	○	・状態の変化に則した支援作りの強化。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>・入院等の際は、情報提供書を提示し、その方を理解して頂けるよう努めている。</p>		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>・親しみを持ちながらも、尊敬の念を持ちケアしている。・慎重に言葉を選び、個人としてのプライバシーを大切にしている。・個人情報の取り扱いには十分注意を払っている。・申し送りでは、氏名ではなく、居室番号で送っている。</p>	<input type="radio"/>	<p>・言葉遣いやプライバシーの確保に注意していく。</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>・状況の変化には敏感に対応出来るよう、ご本人の言動には十分注意をしている。・ご本人の力に合わせた説明を行い、納得して生活できるよう支援している。・スタッフから声かけを行い、会話を持つようにしている。</p>	<input type="radio"/>	<p>・利用者様の納得が行く説明方法の確立を図って行きたい。</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>・個人の状態を日々把握して支援している。・性格やその場での意見を把握してその人らしを保てるように心がけている。</p>	<input type="radio"/>	<p>・職員側の都合になっている場合も多い。利用者様が過ごしやすい環境づくりを目指していく。</p>
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>・出張サービスを利用しており、ご本人の要望に応じて対応をお願いしている。・ご本人の希望があれば、他の美容室に連れて行っている。</p>	<input type="radio"/>	<p>・今後も希望に沿った支援をして行きたい。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	<p>・今後も、利用者様の意見を取り入れ提供内容に重視し、共に協力できる施設でありたい。</p>
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	○	<p>・利用者様の習慣を把握し、紙パンツやパットの対応を検討して行く事で、個人の不安や失禁も減ってきている。今後も維持に努めたい。</p>
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	○	<p>・入浴拒否に対する利用者様対応の統一化を図っていく。</p>
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	○	<p>・環境の変化にも注意を払い、安眠できる環境づくりに配慮していく。</p>
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	○	<p>・利用者様からの教を乞うことで、張り合いや喜びある生活を送って頂きたい。</p>


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・ご本人の状況を把握した上で、ご家族と良く相談しその方に合った方法で対応をしている。・買い物の際、自分で買ったという気持ちを大切に立替などして使えるよう対応している。	<input type="radio"/>	・今後も、ご本人の力に沿ってご家族と話し合い対応をしていく。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・外出表を作成し、その日の状況を加味備え、計画的に実施している。・散歩、買い物など利用者様の要望を交え、他の利用者様も誘いその支援をしている。	<input type="radio"/>	・外へ出る事で、気分転換を図って行きたい。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・年3～4回の行事として行っている。・ご家族との外出機会が持てるよう支援している。	<input type="radio"/>	・今後も施設の年間行事として取組んで行きたい。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・ご本人、ご家族の要望に応じ電話でお話ができるよう支援している。・年賀状等が届いた場合は、その都度支援している。	<input type="radio"/>	・施設入所によって交流が途切れないよう支援して行きたい。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・来所時は、笑顔で対応し、居心地よく過ごせるよう工夫している。・落ち着いて話ができるよう居室やリビング等自由に過ごして頂けるよう場所の配慮をしている。	<input type="radio"/>	・職員が、ご家族、ご友人の顔を覚える事で親しみを持てるようになる。気楽に来所して頂けるよう親しみを持った接し方が出来るよう今後も努めて行きたい。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・身体拘束について、理解した上でご家族の了承頂きご本人、他の利用者様の安全を配慮した上で必要に応じ対応している。	<input type="radio"/>	・今後定期的な勉強会を行って行きたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・居室等の鍵は、ご本人との相談の上対応している。 ・玄関に関しては、エスケープ防止、安全の為、施行している。	○	・玄関に関しては、エスケープ対策を検討中。また、外部からの進入予防及び安全性に関してどうするか検討中である。
67 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・職員同士声がけを行い、安全に配慮している。 ・様子観察は常時行い把握している。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・一人ひとりの能力や状態に応じた対応を行っている。 ・台所の包丁、火災等の安全面に関する取り組みを行っている。	○	・今後も、利用者様の状況に応じた対応に心がけていく。
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・報告等の情報交換を行い、職員それぞれが学び理解して行く様にしている。 ・介護計画に沿ったケアを行い、常に見守りをしている。	○	・今後も、起り得る状況を職員同士で把握し理解を深め、事故防止に努めていく。
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・特に定期的には行っていないが、マニュアルを作成し職員各自で目を通すようにしている。 ・看護師からの指導によりその都度行っている。	○	・定期的な勉強会を行い、緊急時及び急変時の対応について理解を深めるよう努めたい。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・防災訓練を行い、避難できるよう心がけている。	○	・消防署による避難訓練を1回施行。今後、地域の方々の協力を得て、定期的な訓練を行って行きたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72 リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	・管理者、ケアマネジャーがご家族に説明し話し合っている。・職員にもその旨の説明があり、職員同士話し合いの場を持つようにしている。	○	・ご家族との信頼関係を重視していく。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・申し送りでの情報共有を図っている。・バイタルチェックを毎日行い、体調変化に気をかけ、早期発見に努めている。・常時、医師との連絡が出来るようにしている。		
74 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・看護師からの説明を受け、症状の変化の確認を行いながら服薬の支援をしている。	○	・職員に対する服薬指導の徹底を常時行っていく。
75 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・水分補給や野菜などを摂って頂き、ラジオ体操や散歩などの運動を促すよう取り組んでいる。・義歯のない方など調理や食形態にも注意を払っている。	○	・ラジオ体操など定期的な運動を進めていきたい。
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	・各利用者様の口腔ケア方法を把握して、口腔ケアを促し、見守りまたは介助にて行っている。・定期的な口腔歯科往診依頼。	○	・食事をおいしく摂る為、感染を防ぐ為にも重要性の理解を深めて行く。
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・食事量及び水分量のチェックを行い、記録に残す事で伝達している。・身体状況に応じた支援をしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	・手洗い及びうがい等を促し対応している。・往診医による予防接種の実施。	○	・他の利用者様、ご家族様への感染予防も考慮した上、理解を深めていく。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・調理用具の消毒を毎日行っている。・食材の点検を毎週1回施行し、食中毒や腐敗等に注意を払っている。・こまめに掃除を行い、衛生管理に努めている。	○	・食中毒に関する意識確立に努めていく。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	・玄関、建物周囲は常に広く安全に努めている。・靴の履き脱ぎがしやすい様、椅子を設置している。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・レクリエーションを通し、利用者様と季節ごとの作品を手作りしてリビングに飾っている。・利用者様がトイレに行かれた後、必ず確認を行い、他の利用者様が気持ちよく過ごせるよう清潔第一に心がけている。・防臭剤の使用。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・独りでゆったりされる方、他者との会話を楽しまれる方、思い思いの過ごし方をしている。・ソファやテーブル等好きな場所に行けるよう声がけや誘導を行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 せるような工夫をしている	・ご本人、ご家族の希望に沿って居心地よくなる よう配慮している。・ご自分での作品を飾り落ち 着く空間作りを作っている。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	・温度調節はこまめに行っている。・各利用者様 の状態に合った温度調節に心がけている。	<input type="radio"/>	・居室の換気にも心がけていく。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	・利用者様に応じて、1日2回の歩行を促し筋力 訓練に努めている。・テーブルや椅子などの配置 に注意を払っている。・台所の出入りや洗濯など 自由に行って頂いている。	<input type="radio"/>	・安全面を配慮しながら抑制のない生活を目指し ている。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	・目印等による案内やわかりやすい説明を行い、 失敗を少なくし自立して生活が出るよう支援して いる。	<input type="radio"/>	・今後も各利用者様に合った支援方法の確立を目 指して行く。
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	・ベランダにはプランター、庭には花や野菜など 季節毎に植え、水やりなど一緒に行い、成長や収 穫等を楽しんでいる。	<input type="radio"/>	・今後も、続けて行く。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> 大いに増えている <input type="radio"/> 少しずつ増えている <input type="radio"/> あまり増えていない <input type="radio"/> 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/> ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

利用者様との会話に心がけ、より良い生活をして頂くため、各利用者様の状態の変化に対応し、安心して生活が送れ、満足な暮らしをして頂けるよう努めている。